

18 ('83 一橋大)

【難易度】…標準

点  $(x, y)$  が円周  $x^2 + y^2 = 1$  の上を動くとき、次の式の値の範囲を求めよ。

- (1)  $x + y$   
 (2)  $x^4 + y^4$   
 (3)  $x^3 + y^3$

【テーマ】: 三角関数の最大値・最小値

方針

円  $x^2 + y^2 = r^2$  上の任意の点は  $(r \cos \theta, r \sin \theta)$  と表すことができるので、与えられた式を  $\theta$  に関する関数にしてとり得る値を求めます。

解答

- (1)  $x^2 + y^2 = 1$  上の任意の点は  $(\cos \theta, \sin \theta)$  ( $0 \leq \theta < 2\pi$ ) と表すことができるので、 $x = \cos \theta$ ,  $y = \sin \theta$  とおくと、

$$\begin{aligned} x + y &= \cos \theta + \sin \theta \\ &= \sqrt{2} \sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right) \end{aligned}$$

であり、 $\frac{\pi}{4} \leq \theta + \frac{\pi}{4} < \frac{9\pi}{4}$  より、

$$-1 \leq \sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right) \leq 1 \quad \text{ゆえに、} -\sqrt{2} \leq x + y \leq \sqrt{2} \cdots \cdots (\text{答})$$

- (2) (1) と同様に  $x, y$  を定めると、

$$\begin{aligned} x^4 + y^4 &= (x^2 + y^2)^2 - 2x^2y^2 \\ &= 1 - 2\cos^2 \theta \sin^2 \theta \\ &= 1 - \frac{1}{2} \sin^2 2\theta \end{aligned}$$

$0 \leq \sin^2 2\theta \leq 1$  であるから、

$$-\frac{1}{2} \leq -\frac{1}{2} \sin^2 2\theta \leq 0 \quad \Leftrightarrow \quad \frac{1}{2} \leq 1 - \frac{1}{2} \sin^2 2\theta \leq 1$$

ゆえに、 $\frac{1}{2} \leq x^4 + y^4 \leq 1 \cdots \cdots (\text{答})$

- (3) (1) と同様に  $x, y$  を定めると、

$$\begin{aligned} x^3 + y^3 &= (x + y)(x^2 - xy + y^2) \\ &= (\cos \theta + \sin \theta)(1 - \cos \theta \sin \theta) \end{aligned}$$

ここで、 $\cos \theta + \sin \theta = t$  とおくと、(1) より、 $-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2}$  であり、

$$t^2 = 1 + 2\sin \theta \cos \theta \quad \Leftrightarrow \quad \sin \theta \cos \theta = \frac{t^2 - 1}{2}$$

であるから、

$$x^3 + y^3 = t \left( 1 - \frac{t^2 - 1}{2} \right) = -\frac{1}{2}t^3 + \frac{3}{2}t$$

よって,  $f(t) = -\frac{1}{2}t^3 + \frac{3}{2}t$  とおくと,  $-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2}$  における  $f(t)$  のとり得る値の範囲を求めればよい.  
 $f'(t) = -\frac{3}{2}t^2 + \frac{3}{2} = -\frac{3}{2}(t^2 - 1)$  であるから,  $f'(t) = 0$  のとき,  $t = \pm 1$  である. よって, 増減表は次のようになる.

$t$	$-\sqrt{2}$	...	$-1$	...	$1$	...	$\sqrt{2}$
$f'(t)$		-	0	+	0	-	
$f(t)$	$-\frac{\sqrt{2}}{2}$	$\searrow$	$-1$	$\nearrow$	$1$	$\searrow$	$\frac{\sqrt{2}}{2}$

$$f(-\sqrt{2}) = -\frac{1}{2}(-2\sqrt{2}) + \frac{3}{2}(-\sqrt{2}) = -\frac{\sqrt{2}}{2}$$

$$f(-1) = -\frac{1}{2}(-1) + \frac{3}{2}(-1) = -1$$

$$f(\sqrt{2}) = -\frac{1}{2} \cdot 2\sqrt{2} + \frac{3}{2} \cdot \sqrt{2} = \frac{\sqrt{2}}{2}$$

$$f(1) = -\frac{1}{2} + \frac{3}{2} = 1$$

よって,  $-1 \leq x^3 + y^3 \leq 1$ .....(答)



**解説**

(1) は,  $x + y = k$  において円  $x^2 + y^2 = 1$  と直線  $y = -x + k$  が共有点を持つという条件からも範囲を求めることができます. しかし, (2), (3) においては, このようなやり方では求めることが困難なため, 円の媒介変数表示  $x = \cos \theta$ ,  $y = \sin \theta$  を用いて変数を  $\theta$  一つにする必要があります. 入試問題には, このように 2 変数を媒介変数や置き換えなどによって 1 変数にしなければ解けないという問題が多いので, この類の問題演習はしっかりと積んでおきましょう.